

神戸から東北、東北から近畿へ

入場無料、住民と公務労働者といっしょになって考える集いです。多くの住民の方の参加をお待ちしています。

# 近畿の今と明日の地震・津波・原発などの災害を考える集い

3.11 東日本大震災から2年が経過しましたが、今だに31万人の方が避難生活を余儀なくされ復興もままなりません。大飯原発が再稼働され、それが拡大する動きも顕著です。その点では“2年前”ではなく“2年間”をとらえなおし、私たちが働き、暮す近畿を考えることが重要です。とりわけ、18年前の阪神淡路大震災からの復興の教訓と重ね合わせ、近畿の今と明日を見据えた町づくりを考える一歩としてこの集いを企画し、会場もあえてATCとしました。

日時：4月27日（土）午後1時30分～4時45分（予定）

会場：ATCホール（大阪南港・咲洲）

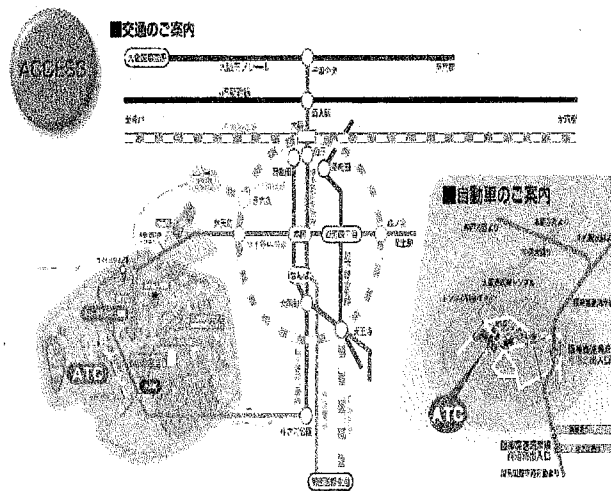
6階コンベンションホール

記念講演：（仮題）住民のいのちと暮らしを守る

地域・自治体をつくるために

室崎益輝関西学院大学総合政策学部教授

（中央防災会議専門委員会委員・日本地震復興学会会長）



## 報告

大飯原発と地域経済（京都）

防災まちづくり運動（大阪）

10万人避難訓練（兵庫・西宮市）など、  
フロアー発言

※終了後、WTC見学ツアーを予定しています。

展望台入場料500円

※梅田・本町・心斎橋・なんば方面から地下鉄中央線「本町」で、トレードセンター前駅下車  
※大阪駅からは、JR 環状線「弁天町」で地下鉄中央線「弁天町」に乗り換え、トレードセンター前駅下車

主催：日本自治体労働組合総連合近畿ブロック協議会

大阪市北区天神橋1-13-15 グリーン会館3F  
電話：06-6354-6214